



2019年2月14日
東日本旅客鉄道株式会社
大宮支社

TC型省力化軌道工事を始めます

TC型省力化軌道は、軌道保守の作業量を低減させる目的で開発され、1998年より敷設が始まりました。これまで山手線を始めとした東京圏の各線区へ敷設を進めてまいりましたが、このたび、大宮支社においても、多くの保守作業を必要としている箇所を対象として、2019年3月からTC型省力化軌道工事を始めます。TC型省力化軌道の敷設により、安全安定輸送の向上を図るとともに、今後もお客さまに快適に列車にご乗車いただけるような線路づくりを進めてまいります。

1 TC型省力化軌道とは

TC型省力化軌道とは、軌道保守の作業量を低減させる目的で、JR東日本のテクニカルセンター（TC）により開発された軌道です。通常のバラスト軌道と比べてマクラギを大型化して列車荷重の分散を図るとともに、マクラギ下のバラストをセメント系で固定化する構造となっており、列車の運行を止めることなく、夜間に省力化軌道に更新できることが特徴となっています。



TC型省力化軌道

2 工事概要

(1) 施工区間

東北本線	川口付近～南浦和付近	施工延長	11.6 km
東北貨物線	川口付近～浦和付近	施工延長	14.6 km

(2) 工期

2019年3月 ～ 2025年3月

※工期については、変更になる場合があります。